平成 29 年 11 月９日

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター

「内閣府 景気ウォッチャー調査　平成 29 年１０月東北分（東北６県）」について

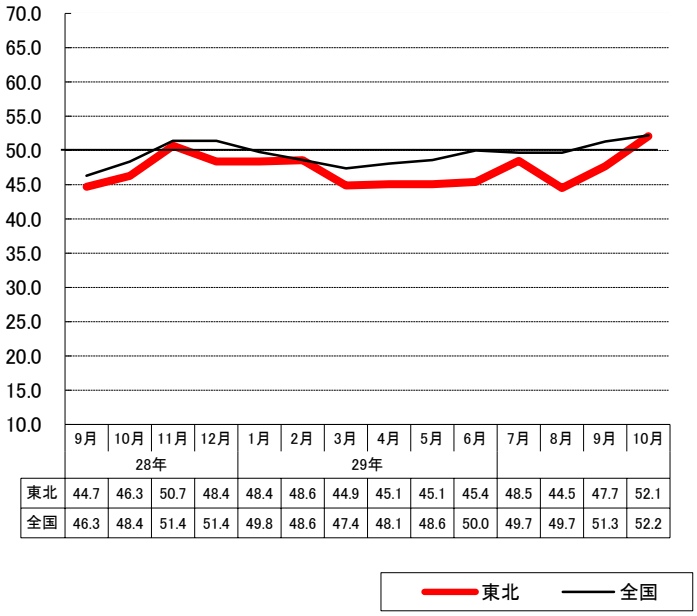
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力㈱取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年１０月東北分（東北６県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

１．季節調整値

（１）現状判断（３か月前との比較、方向性　季節調整値）

現状判断 DI は「５２．１」と２か月連続で前月を上回った。前月と比較し＋４.４ポイントと大幅に上回った。

現状判断DIの推移

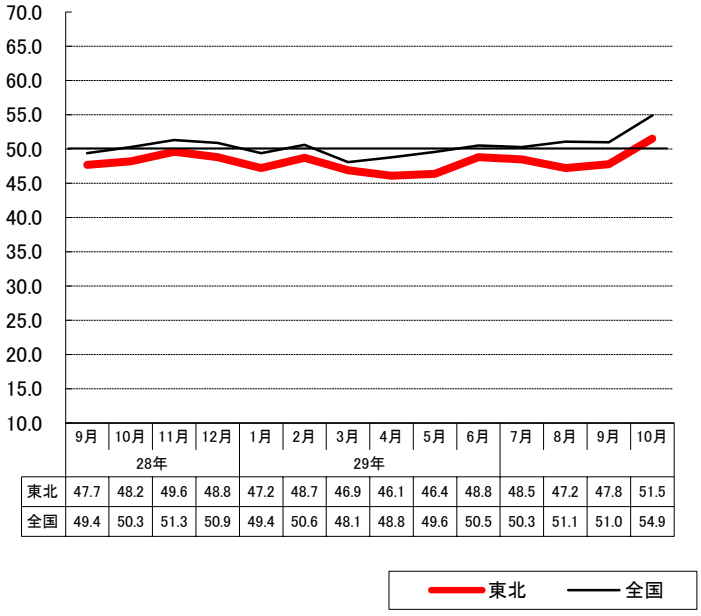


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	28年				29年									
東北	44.7	46.3	50.7	48.4	48.4	48.6	44.9	45.1	45.1	45.4	48.5	44.5	47.7	52.1
全国	46.3	48.4	51.4	51.4	49.8	48.6	47.4	48.1	48.6	50.0	49.7	49.7	51.3	52.2

（2）先行き判断（２～３か月先の見通し、方向性　季節調整値）

先行き判断 DI は「５１．５」と２か月連続で前月を上回った。前月と比較し＋３.７ポイントとやや上回った。

先行き判断DIの推移



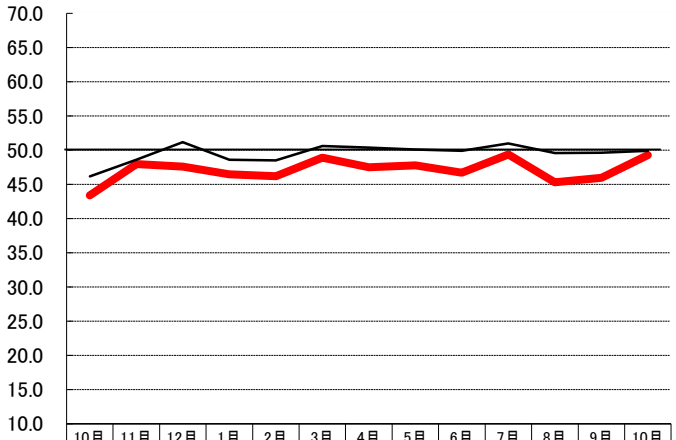
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	28年				29年									
東北	47.7	48.2	49.6	48.8	47.2	48.7	46.9	46.1	46.4	48.8	48.5	47.2	47.8	51.5
全国	49.4	50.3	51.3	50.9	49.4	50.6	48.1	48.8	49.6	50.5	50.3	51.1	51.0	54.9

2．原数値

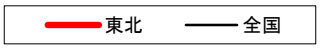
（1）現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「４９．３」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し＋3.3 ポイントとやや上回った。

現状判断DIの推移



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	28年			29年									
東北	43.4	48.0	47.6	46.5	46.2	48.9	47.5	47.8	46.7	49.4	45.3	46.0	49.3
全国	46.2	48.6	51.2	48.6	48.5	50.6	50.4	50.1	49.9	51.0	49.6	49.6	49.9



・家計動向…観光名所・遊園地、百貨店、都市型ホテル等の業種で DI が前月を下回ったが、旅行代理店、住関連専門店、通信会社等の業種で DI が前月を上回った。DI は「48.5」(+1.7)と 2 か月連続で前月を上回った。

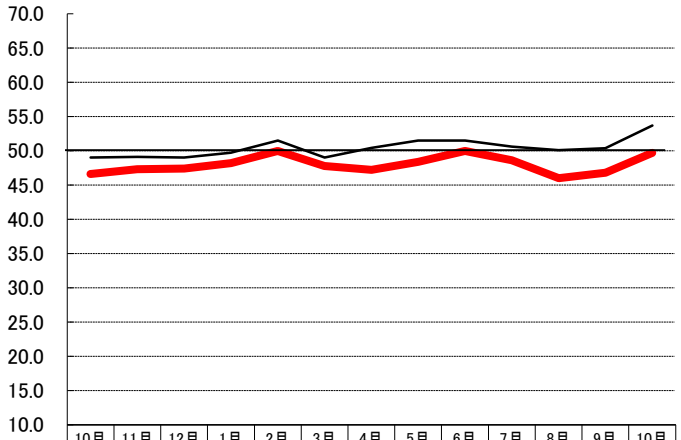
・企業動向…輸送用機械器具製造業、コピーサービス業、食料品製造業等の業種で DI が前月を下回ったが、建設業、広告代理店、通信業等の業種で DI が前月を上回った。DI は「50.0」(+4.7)と 2 か月連続で前月を上回った。

・雇用動向…DI は「52.5」(+10.0)と 4 か月ぶりに前月を上回った。

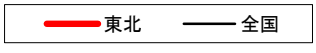
（2）先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「４９．７」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し＋2.9 ポイントとやや上回った。

先行き判断DIの推移



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	28年			29年									
東北	46.6	47.3	47.4	48.2	50.0	47.8	47.2	48.4	50.0	48.6	46.0	46.8	49.7
全国	49.0	49.1	49.0	49.7	51.5	49.0	50.4	51.5	51.5	50.6	50.1	50.4	53.7



・家計動向…百貨店、家電量販店、コンビニ、美容室等の業種で DI が前月を下回ったが、高級レストラン、商店街代表者、その他専門店等の業種で DI が前月を上回った。DI は「48.9」(+3.2)と 4 か月ぶりに前月を上回った。

・企業動向…建設業、家具及び木材木製品製造業、出版・印刷・同関連産業等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「50.0」(+0.7)と 2 か月連続で前月を上回った。

・雇用動向…DI は「53.8」(+5.0)と、2 か月連続で前月を上回った。

＜参　考＞

■ＤＩの推移（原数値）

（１）現状判断（方向性）ＤＩ

	28年			29年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北現状	43.4	48.0	47.6	46.5	46.2	48.9	47.5	47.8	46.7	49.4	45.3	46.0	49.3
家計動向関連	42.6	47.1	46.0	45.6	44.7	49.2	47.4	47.0	45.5	49.1	44.4	46.8	48.5
企業動向関連	41.2	47.1	48.6	46.6	46.5	45.7	43.6	50.7	44.6	48.6	44.7	45.3	50.0
雇用関連(参考)	52.5	55.0	55.3	51.3	53.8	52.5	55.3	47.5	57.5	52.5	51.3	42.5	52.5

（２）先行き判断ＤＩ

	28年			29年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北先行き	46.6	47.3	47.4	48.2	50.0	47.8	47.2	48.4	50.0	48.6	46.0	46.8	49.7
家計動向関連	45.8	46.4	46.6	47.1	49.3	48.1	47.1	50.0	50.0	48.1	45.9	45.7	48.9
企業動向関連	47.3	46.4	46.6	50.0	49.3	45.7	44.3	44.6	48.0	47.3	45.4	49.3	50.0
雇用関連(参考)	50.0	53.8	53.9	51.3	55.0	50.0	52.6	46.3	53.8	53.8	47.5	48.8	53.8

※ＤＩ（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。
※１０月調査より「甲信越地区（山梨、長野、新潟の３県で構成）」が新設されたことに伴い、東北地区のすべてのグラフ及び作表は、新潟県を除いた東北６県（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の６県）のＤＩ値（過去ＤＩ値を含む）で公表する。

■調査の概要

調査期間　平成 29 年 10 月 25 日～31 日
回答者数　174/189 名、回答率 92.1%(全国 1,866/2,050 名、91.0%)

以　上

＜お問い合わせ先＞
公益財団法人　東北活性化研究センター（担当：萱場 喜樹）
〒980-0021　仙台市青葉区中央２－９－１０
TEL：022-225-1426　FAX：022-225-0082

＜別　紙＞

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（建設業）…民間工事に合わせ、公共工事の受注も確定するなど、３か月前と比較すると景気拡大の傾向にある。

○「やや良くなっている」

（衣料品専門店）…９月に一度寒くなったこともあり、秋冬物商材の立ち上がりが早い。例年と比較しても高単価な商品の動きが活発である反面、全体の来客数が伸び悩んでいることが懸念材料である。

（ショッピングセンター）…衆議院選挙や台風の影響が多少あったものの、駅前を取り巻く集客環境は依然として好調である。

（通信会社）…自宅でＷｉ－Ｆｉを利用する頻度が増えているため、インターネットの固定回線を導入する利用者が増加している。価格競争は厳しく、他社と比較して低価格のメニューが人気である。

（金属製品製造業）…好調な受注が続いており、なかには断る案件もある。人手不足により製造できないことが原因の一つであることから、動向を注意深くみていく必要がある。

（広告業協会）…10 月は衆議院選挙の効果もあり、新聞社への出稿は前年を上回り、テレビ各社も前年並みに回復している。流通商業関係も持ち直している様子である。

（人材派遣会社）…求人数は堅調に推移している。大手メーカーの増産の影響は裾野産業の中小企業まで波及し、採用活動に動いている印象がある。

○「変わらない」

（商店街）…９月以降は暖かく良い天候が続いて雨の日も少なく、来客数は少しずつ増えている。また、飲食店、更に衣料品関係は、バーゲンによるものではあるものの、ここにきて秋物の動きが大変良くなっている。

（カメラ販売店）…販売量は横ばいで推移している。低額商材の動きが鈍いものの、高額商材の販売が好調なことで売上を確保している。

（百貨店）…夏物商戦から回復傾向にある婦人服、紳士服などの衣料品は、今月も前年を上回っている。ただし、比較的堅調であった食品がやや苦戦しているため、全体的な景気に変化はみられていない。物産展は引き続き苦戦が続いており、展開内容や商品内容の見直しが求められている。また、高額商材においては、ブランド品の店外催事が苦戦しているものの、本来の売場は堅調である。

（スーパー）…天候の影響もあり、来客数は前年比 98.3%と減少している。買上点数が前年を上回っているため、売上は前年並みを確保できているが、このことで景気が変化してきているとは言い難い。

（家電量販店）…来客数は前年並みで推移している。冷蔵庫や４Ｋテレビなどの高額商材は好調であり、前年を上回ることができているが、ガソリン代などの高騰により、買い控えもみられている。

（住関連専門店）…客の多くは来店前にすでに予算を設定しているが、安価な予算が多く、高額商材の販売につながらない。インターネットによる安売りが原因ではないかとみている。

（酒類専門店）…今月は衆議院選挙があり、飲食店の状況が悪い、店頭商品が動いているため何とかなっているものの、数字が非常に読みづらくなってきている。

（高級レストラン）…観光客など他県からの来客数は前年に比べて伸びている。ただし、衆議院選挙などの影響もあるのか、地元客の来客数は前年を下回っている。

（観光型旅館）…紅葉シーズンに入り来客数は増えてきているものの、週末に台風など天候が崩れる事もあり、景気が上向いていることを実感するまでには至っていない。

（旅行代理店）…価格重視の傾向が続いている。アジア方面やハワイ方面は前年並みの人気であるものの、韓国やグアムの問い合わせは少なく、欧州の落ち込みも大きい。客は様子見を続けており、海外から国内へという傾向も強い。

（遊園地）…中旬まではまずまずの来客数であったが、後半の週末に２度も台風が襲来し、期待していたイベントに打撃を与えている。結果として、来客数は前年比において 20%を超える落ち込みとなっている。

（住宅販売会社）…不動産から取得する顧客が増えているが、決定までの時間が長く受注予定が組みづらくなっている。

（食料品製造業）…今年は例年あった企画がなく、土日に台風が来たこともあり、前年と比較して売上は減少している。しかし、今年から販売を開始しているハロウィン商品により、多少のカバーができている。

（木材木製品製造業）…前年ほどの過熱感はないものの、受注は依然として好調である。また、円安に伴う輸入原材料のコストアップ分の価格転嫁についても、徐々に進んできている。

（窯業・土石製品製造業）…４～９月における東北地域の出荷量は、前年比 101.7%となっているものの、落ち込みが激しかった前年との比較のため、下げ止まったままで回復はみられていない。老朽化したプラントや設備の更新を控えている工場も多く、さらに、ミキサー車の運転手の募集をしても、オリンピック需要で首都圏に人が取られているのか、なかなか集まらない。

（輸送業）…主要荷主商品に輸出増が見込まれている。当社の取扱となる予定であるが、まだ実績にはなっていない。

（新聞社［求人広告］）…大都市に集中している人手不足の余波は、地方にも影響している。被災地では、ようやく社員募集をかけられるようになったものの、応募がない状態であり、結果として求人数はあまり増えていない。

○「やや悪くなっている」

（コンビニ）…前月は単価が良くなかったが、10 月は天候不順の影響により、来客数が減少している。

（乗用車販売店）…自動車メーカーの不正検査問題によるリコールで、販売量が伸び悩んでいる。

（一般レストラン）…今月は衆議院選挙の影響なのか、来客数が激減している。８～９月が好調であったため、かなりの痛手となっている。

（都市型ホテル）…宿泊部門、宴会部門、レストラン部門全ての数字が前年に届いていない。競合店オープンの影響もあるが、市内全体で宿泊客が減少している。また、衆議院選挙の影響もあり、レストランの来客数も減少している。

（美容室）…客は高齢者が多く、施設に入所するなどして、だんだんと来客数が減少している。

（農林水産業）…天候不順の影響により、米の収穫量は例年にない不作となっている。

（職業安定所）…新規求人数は、ここ数か月間減少傾向が続いている。特に建設業、製造業からの求人が大幅に減少している。小売業ではフルタイムの求人数は少ないながらもそれほど変化はないが、パート求人は減少傾向にある。

（２）先行き判断理由

○「やや良くなる」

（商店街）…天候に恵まれて来客数が増えている。今後は、寒くなることにより秋物バーゲンや冬物の動きも活発化していくとみている。

（衣料品専門店）…オリンピックに向けて、スポーツ関連商材の動きが活発化しており、消費者のマインドが明るくなってきている。この流れがビジネス、普段着需要に波及してくれば、今後に期待が持てる。

（高級レストラン）…政権も安定しており、色々なものが少しずつ良くなっていくのではないか。東北の景気は良くないが、全国の景気は良い様子のため、それにけん引されて良くなるとみている。

（一般レストラン）…今後は忘年会シーズンとなるため、良くなっていくとみている。

（電気機械器具製造業）…半導体電子部品が搭載されるシステム製品の開発が好調であり、半導体部品の開発スパンを短縮する必要があるほどの状況が続く見通しである。

（輸送業）…物量の増加と倉庫利用の増加が見込まれているものの、石油製品の値上げも見込まれているため、先行きに不透明感がある。ただし、全体的な景気は上向くとみている。
（広告代理店）…11 月～年末にかけて取引先に動きが出てきているため、期待をしている。
（金属工業協同組合）…納期や単価など、内容を選ばなければ、仕事の見積は増えている。ただし、従業員補充の募集を出しても応答がなく、結果として受注の機会を逃している。
（人材派遣会社）…求人数の増加に伴う企業の採用難易度の上昇により、業界経験者の募集案件が減少し、未経験者を採用する動きが活性化している。その結果、幅広い求職者が応募できる案件が増え、採用数の増加につながるという好循環が生まれている。人材ビジネスは案件受託から２～３か月後に採用に至るケースが多いため、今後もこの状況は継続するとみている。
（新聞社［求人広告］）…衆議院選挙後に公約どおりの政策実施となれば、地方、特に被災地の復興に弾みがつく見込みである。ただし、まずは人手不足を解消することが急務である。

○「変わらない」

（百貨店）…衆議院選挙も大きな影響を与えるような結果にはならず、落ち着いた商売が続くとみている。また、ここ数回のお中元、お歳暮商戦が比較的好調であったため、今年もお歳暮が引き続き好調に推移すれば、全体の景気を引上げる契機になる可能性もある。
（スーパー）…株価は好調であるが、スーパーの現場では景気の良さは特に実感できない。特に大きな災害などがない限りは、現状維持が続くとみている。
（白衣・ユニフォーム専門店）…景気が良くないといいながらも、動くものは動いている。値上げの心配もあり安心はできないが、この先も厳しいなりに物は動くとみている。
（観光型ホテル）…秋の観光シーズンは、台風の影響でキャンセルなどが発生しており、来客数も今一つ伸びていない。忘年会、新年会の予約も前年を下回っている。
（都市型ホテル）…忘年会、新年会などの予約は例年どおりに推移している。
（旅行代理店）…衆議院選挙の影響は少なからずあり、この先２～３か月の先行受注状況をみても、海外の情勢不安が完全に払拭されない限り、客の様子見の状態が続くとみている。
（食料品製造業）…特に、人の動きを喚起するイベントなどがないため、これから先は現状維持の状態で推移するとみている。
（職業安定所）…食料品製造関係では、繁忙期のために臨時の求人が出てくる時期である。ただし、今年は台風による養殖カキへの影響もあり、大幅な雇用の確保は難しいとみている。

○「やや悪くなる」

（コンビニ）…冬の間は光熱費が高騰する。また、除雪代の支払や来客数の減少により毎年厳しい状況となる。さらに、10 月から始まる最低時給の上昇により、今年の経営はかなり厳しくなるとみている。
（農林水産業）…10 月の天候不順により晴れの日が少なく、いまだにふじりんごの着色が薄い。この先きちんと真っ赤に色づいてくれるか心配である。
（木材木製品製造業）…金融機関のアパートローンの抑制志向など、住宅着工を取り巻く情勢にネガティブな動きが出てきている。受注に対して徐々にブレーキがかかってくるとみている。
（建設業）…受注量については、今が今年度の１回目のピークである。大型公共工事の受注者が確定する年度末が２回目のピークであることから、それまでの期間、受注量は横ばいもしくは若干の減少で推移するとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以　上